

令和2年度 二学期終業式 校長講話 (R2.12.23)

皆さん、おはようございます。

8月20日の始業式から丸4か月が過ぎ、二学期の終業式を迎えることになりました。

二学期を振り返り思うのは、このコロナ禍にありながらも、広島皆実高校の素晴らしや良さを、改めて感じとることができたということです。

私の感じた皆実の良さを挙げるなら、まずは皆さんの笑顔です。

様々な行事が中止となる中で、9月17日には、あいにくの雨で午前中だけの実施となりましたが、大運動会が開催できました。各学年の素晴らしい集団演技が見られる一方で、生徒の皆さんが主体となって運営や進行の面でも活躍し、笑顔が印象に残る行事となりました。

また、来校されるお客様からいつも「皆実高校では、生徒も先生方も笑顔で気持ち良く挨拶をさせていただきます」と言葉をかけていただいています。こうした「もてなしの心」は、日頃からの挨拶や態度から生まれるものであり、気持ちの良い学校生活につながるものだと思います。これからも大切にしてほしいと思います。

二つ目の皆実の良さは、皆さんの活躍や頑張りです。

先ほど賞状伝達式がありました。私はこれまでこれほど多くの県大会の優勝、準優勝や、全国大会への出場がある学校に勤務したことはなく、素直に感動しています。

10月の陸上競技部の全国大会出場を皮切りに、本日から男女のバスケットボール部が、年明け早々にサッカー部が全国大会に出場します。さらには、剣道部の男女団体が3月の全国大会に出場が決定するなど、運動系クラブが全国に繋がる活躍を見せてくれています。一方、文化系クラブでは、自然科学部がスパコン甲子園「富岳チャレンジ」に出場し、放送部はオーディオピクチャー部門で来年度の全国高等学校総合文化祭の出場権を獲得しました。更には、看護クラブの研究文が「専門高校生徒の研究文・作文コンクール」で全国の優秀9作品の一つに選ばれました。このように、本校はスポーツの面と文化や研究の面で成果をあげており、その意味で、本校は「文武両道」を実現できている学校だと改めて感じています。

全国大会に出場したり、優秀な賞をいただいたりすることは特筆すべきことですが、夢の実現に向けて地道に努力し続ける生徒が多くいることも、本校の素晴らしさだと考えます。例えば、放課後、職員室前の廊下や選択教室で黙々と自習を行う3年生の姿、実習で疲れているのに学校に戻って看護棟の図書室等で黙々と実習記録を整理する衛生看護科・専攻科の生徒の姿を見るにつけ、本校の底力を感じています。このように、一人一人の生徒が何事にも頑張りぬくことも、本校の「文武両道」の精神を具現化することだと思います。

3年生の皆さん、共通テストまで3週間余りとなりました。「もう3週間」ではありません。「まだ3週間」です。3週間もあれば、苦手克服などの対策が十分にとれます。最後までしっかりと取り組んでください。

このように皆実生の活躍や頑張りがある一方、このコロナ禍で、皆さんが楽しみしてきた行事を中止や延期にせざるを得ない状況があったり、部活動でも目標としていた大会が中止となったり参加を取りやめてもらったりもしています。さらには衛生看護科・専攻科の皆さんにとっては将来につながる病院等での実習の一部が受け入れ中止となっています。皆さんに通常どおりの学校生活を送ってもらえないことを、とても心苦しく思っています。

こうした「例年なら当たり前のことができない」「自分の力だけでは解決しない」状況は、もどかしくつらいものです。中にはストレスをため込んでいる人もいるかもしれません。しかし、本日こうして終業式を迎えることができました。一学期の終業式にもお話ししましたが、皆さんは厳しい状況の中で、できないことを嘆くだけでなく、できることを一つずつ努力し、この二学期を乗り越えてきました。そのことだけでも立派なことだと思います。ですから、自分で自分をほめてあげてください。そして友達と称え合ってほしいと思います。

さて、冬休みに入ります。広島県の湯崎知事を始め、多くの方が「静かな年末年始としてください」と呼び掛けています。そんな時だからこそ、家族や親しい人に自分の思いや夢をしっかりと伝えてみてください。きっと返ってくるものがあると思います。私たち教職員も、生徒一人一人をかけがえのない存在として、皆さんの思いをしっかりと聞き、受け止めていきたいと思っています。

新型コロナウイルス感染症の感染拡大は終息の兆しがなかなか見えません。私たちが生活する広島市を中心とした地域では、誰が感染しても濃厚接触者になってもおかしくない状況です。だからこそ、今一度自分を守る、自分の大切な人を守る行動をとってください。小説家で僧侶の瀬戸内寂聴さんは「自分を大切にすることはあなたのためだけではありません」と述べています。瀬戸内さんは、人生を編み物に例え、「自分という網の目が崩れればその周りも崩れます。だからこそ自分を大切にしてください」と話されています。各ホームクラスもいくつもの網の目につながっています。この後のLHRで、3学期の始業式には、みんな笑顔で再開することを約束して帰ってください。

それでは皆さん、静かで慶びに満ちたお正月を迎えてください。そして、全員元気に3学期の始業式で会いましょう。